

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	福岡医療専門学校
設置者名	学校法人福岡医療学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	柔道整復科	夜・通信	17 単位	9 単位	
	鍼灸科	夜・通信	15 単位	9 単位	
	理学療法科	夜・通信	12 単位	12 単位	
	診療放射線科	夜・通信	9 単位	9 単位	
	看護科	夜・通信	11 単位	9 単位	
	歯科衛生科	夜・通信	10 単位	9 単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校ホームページ： https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	福岡医療専門学校
設置者名	学校法人福岡医療学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページの「理事会名簿」において公表する。
URL： <https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	市議会議員	2025.4.1 ～ 2026.3.31	適切な法務が運用されているかを管理する役割が期待される。
非常勤	元高等学校 校長	2025.4.1 ～ 2026.3.31	学校教育全般に係る指導管理についての役割が期待される。
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	福岡医療専門学校
設置者名	学校法人福岡医療学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 教育課程編成委員会等にてカリキュラムの内容、到達目標等についての見直しを行う。それを踏まえ担当教員を中心に授業計画書を作成する。4月頃に授業計画書を学生に配布し、同時期に学校ホームページ上で公開する。	
授業計画書の公表方法	https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 各授業科目は定期試験、レポート等により客観的かつ厳正に評価を行っている。評価は0～100点にて行い、授業科目の学修成果を把握している。また、単位の認定は成績判定会議を行い決定している。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 各授業科目は定期試験、レポート等により客観的かつ厳正に評価を行っている。評価は0～100点にて行い、授業科目の学修成果を把握している。また、単位の認定は成績判定会議を行い決定している。本校での授業科目は各学科の養成所指定(認定)規則により、免除される科目以外はすべて必修であり、当該学科・学年における履修科目に大きな差はない。そのため成績の分布については受講科目の点数を平均して順位を算出し、クラス内の相対的習熟度(順位)を把握し、指導を実施している。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 学則第 21 条において、学則第 10 条（成績評価）に定める授業科目の成績評価に基づいて、校長は課程修了の認定を行う。また所定の修業年限以上に在学し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。この内容については、ホームページで公開している。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	福岡医療専門学校
設置者名	学校法人福岡医療学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html
財産目録	https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html
事業報告書	https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html
監事による監査報告（書）	https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
医療		医療専門課程	柔道整復科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2760 単位時間／単位	1575 時間	390 時間	180 時間	0 時間	615 時間
			2760 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
210 人		183 人	0 人	14 人	20 人	34 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載したシラバスを作成しホームページ上で公開する。
成績評価の基準・方法
（概要） 各科目の成績は100点満点とし、定期試験及びその他の各種資料（定期試験以外の試験、学習態度、出席状況等）に基づいて決定する。原則として60点以上を合格とする。実技実習、臨床実習の成績についても同様とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。学年ごと授業日数の3分の1以上欠席したものは進級、卒業せしめないものとする。
学修支援等
（概要） クラス運営は複数担任制を導入している。出席状況、補充指導等をおして日々の状況をクラス担任が把握し、保護者との連携を密に取り対応している。また学生支援室を設置し、学生相談の場として万全なフォロー体制を構築している。さらに附属クリニックにお

ける専門医の健康相談等の場を設けている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）												
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他									
36 人 (100%)	12 人 (33.3%)	24 人 (66.7%)	0 人 (%)									
（主な就職、業界等） 市川整骨院、いつつぼし整骨院、伊都整骨鍼灸院、甲斐整骨院、介正鍼灸整骨院、からだコンディショニングふくおか整骨院、堺整骨院、つながり整骨鍼灸院、徳田整骨院、ながとも整骨院、名倉堂接骨院・鍼灸院、ふるかわ整骨院、ふるかわ整骨院グループ、まつなが整骨院、松山整骨院、モアはりきゅう整骨院、よし姿勢&スポーツ整骨院、ReCORE 鍼灸接骨院												
（就職指導内容） 就職支援室を中心とした就職支援・指導を実施している。セミナー・講座を開催し、履歴書の書き方、面接の受け方など具体的な指導を行っている。医療機関等からの協力によりインターンシップを実施し、学生に対し職業に従事する動機づけを行っている。												
（主な学修成果（資格・検定等）） <table><tr><td>資格・検定名</td><td>受験者数</td><td>合格者数</td></tr><tr><td>柔道整復師国家試験</td><td>36 人</td><td>35 人</td></tr><tr><td>JATI-ATI</td><td>17 人</td><td>17 人</td></tr></table>				資格・検定名	受験者数	合格者数	柔道整復師国家試験	36 人	35 人	JATI-ATI	17 人	17 人
資格・検定名	受験者数	合格者数										
柔道整復師国家試験	36 人	35 人										
JATI-ATI	17 人	17 人										
（備考）（任意記載事項）												

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
143 人	13 人	9.1%
（中途退学の主な理由） 経済的事由 成績不良		
（中退防止・中退者支援のための取組） 奨学金や教育ローンの拡充をはかり、経済的困難な学生のサポートに努めている。 入学予定者に対するサポートデスクを立ち上げ、入学までの学力向上を図っている。 複数担任制を導入し、学生へのきめ細やかなサポートを継続している。		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
医療		医療専門課程	鍼灸科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
3 年	昼	2685 単位時間／単位	2025 時間	0 時間	180 時間	0 時間	480 時間	
			2685 単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
180 人		144 人	0 人	9 人	12 人		21 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載したシラバスを作成しホームページ上で公開する。
成績評価の基準・方法
（概要） 各科目の成績は100点満点とし、定期試験及びその他の各種資料（定期試験以外の試験、学習態度、出席状況等）に基づいて決定する。原則として60点以上を合格とする。実技実習、臨床実習の成績についても同様とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。学年ごと授業日数の3分の1以上欠席したものは進級、卒業せしめないものとする。
学修支援等
（概要） クラス運営は複数担任制を導入している。出席状況、補充指導等をとおして日々の状況をクラス担任が把握し、保護者との連携を密に取り対応している。また学生支援室を設置し、学生相談の場として万全なフォロー体制を構築している。さらに附属クリニックにおける専門医の健康相談等の場を設けている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
43 人 (100%)	0 人 (0%)	41 人 (95.3%)	2 人 (4.7%)
（主な就職、業界等） いまはやし鍼灸整骨院、えーる鍼灸治療院、en 婦人科クリニック、おかげ整体院、甲斐整骨院、株式会社スマイルケア、からだ元気治療院、きよた鍼灸院、堺整骨院、東雲鍼灸治療院、杉本はりきゅう整骨院、スポーツデポ、高宮鍼灸整骨院、たなか整骨院、中央整骨鍼灸院、つむぎ整骨院・鍼灸院、西新キュアラボ、パーソナル鍼灸 pint、はる整骨院、ひまわり鍼灸整骨院、ビューティーサロンエクラ美容鍼灸ハリッチ、広島治療院、フジヤマ整骨院、ふるかわ整骨院、別府はり灸整骨院、訪問マッサージこころ在宅ケア、松本鍼灸整体療院、マルシン薬局、やすまる整骨院、りきたけ整骨院			

(就職指導内容)		
就職支援室を中心とした就職支援・指導を実施している。セミナー・講座を開催し、履歴書の書き方、面接の受け方など具体的な指導を行っている。医療機関等からの協力によりインターンシップを実施し、学生に対し職業に従事する動機づけを行っている。		
(主な学修成果（資格・検定等））		
資格・検定名	受験者数	合格者数
はり師国家試験	44 人	43 人
きゅう師国家試験	44 人	43 人
JATI-ATI	6 人	6 人
(備考) (任意記載事項)		

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
127 人	5 人	3.9%
(中途退学の主な理由)		
経済的事由 成績不良		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
奨学金や教育ローンの拡充をはかり、経済的困難な学生のサポートに努めている。 入学予定者に対するサポートデスクを立ち上げ、入学までの学力向上を図っている。 複数担任制を導入し、学生へのきめ細やかなサポートを継続している。		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
医療		医療専門課程	理学療法科			○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼	3430 単位時間／単位	2310 時間	60 時間	880 時間	0 時間	180 時間
			3430 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数
320 人		219 人	0 人	9 人	21 人		30 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載したシラバスを作成しホームページ上で公開する。
成績評価の基準・方法
（概要） 各科目の成績は100点満点とし、定期試験及びその他の各種資料（定期試験以外の試験、学習態度、出席状況等）に基づいて決定する。原則として60点以上を合格とする。実技実習、臨床実習の成績についても同様とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。学年ごと授業日数の3分の1以上欠席したものは進級、卒業せしめないものとする。
学修支援等
（概要） クラス運営は複数担任制を導入している。出席状況、補充指導等をとおして日々の状況をクラス担任が把握し、保護者との連携を密に取り対応している。また学生支援室を設置し、学生相談の場として万全なフォロー体制を構築している。さらに附属クリニックにおける専門医の健康相談等の場を設けている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
55 人 (100%)	0 人 (0%)	54 人 (98.2%)	1 人 (1.8%)
（主な就職、業界等） 病院・介護施設等：秋山クリニック、秋吉整形外科、いしばし整形外科、おおぞら病院、貝塚病院、熊本託麻台リハビリテーション病院、久留米大学病院、江東リハビリテーション病院、高良台リハビリテーション病院、古賀病院 21、小倉リハビリテーション病院、済生会唐津病院、桜十字大手門病院、桜十字福岡病院、佐世保中央病院、舌間整形外科、原宿リハビリテーション病院、新吉塚病院、杉村病院、誠愛リハビリテーション病院、タケダスポーツ・ビューティークリニック、筑紫南ヶ丘病院、田園調布中央病院、那珂川病院、西福岡病院、脳神経リハビリ北大路病院、博愛会病院、白十字リハビリテーション病院、原三信病院、原宿リハビリテーション病院、原土井病院、パル、福岡県済生会飯塚嘉穂病院、福岡ハートネット病院、福岡リハビリテーション病院、福西会病院、別府医療センタ			

一、まつもと整形外科クリニック、水戸病院、牟田病院、村上記念病院、諸岡整形外科病院、米盛病院、M スポーツ整形外科クリニック		
(就職指導内容) 就職支援室を中心とした就職支援・指導を実施している。セミナー・講座を開催し、履歴書の書き方、面接の受け方など具体的な指導を行っている。医療機関等からの協力によりインターンシップを実施し、学生に対し職業に従事する動機づけを行っている。		
(主な学修成果（資格・検定等））		
資格・検定名	受験者数	合格者数
理学療法士国家試験	56 人	56 人
JATI-ATI	15 人	14 人
(備考) (任意記載事項)		

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
219 人	16 人	7.3%
(中途退学の主な理由) 経済的事由 成績不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 奨学金や教育ローンの拡充をはかり、経済的困難な学生のサポートに努めている。 入学予定者に対するサポートデスクを立ち上げ、入学までの学力向上を図っている。 複数担任制を導入し、学生へのきめ細やかなサポートを継続している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	診療放射線科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	3000 単位時間／単位	1860 時間	420 時間	540 時間	150 時間	30 時間
			3000 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人		216 人	0 人	14 人	15 人	29 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載したシラバスを作成しホームページ上で公開する。
成績評価の基準・方法
（概要） 各科目の成績は100点満点とし、期試験及びその他の各種資料（定期試験以外の試験、学習態度、出席状況等）に基づいて決定する。原則として60点以上を合格とする。実技実習、臨床実習及び体育実技の成績についても同様とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。学年ごと授業日数の3分の1以上欠席したものは進級、卒業せしめないものとする。
学修支援等
（概要） クラス運営は複数担任制を導入している。出席状況、補充指導等をとおして日々の状況をクラス担任が把握し、保護者との連携を密に取り対応している。また学生支援室を設置し、学生相談の場として万全なフォロー体制を構築している。さらに附属クリニックにおける専門医の健康相談等の場を設けている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
28 人 (100%)	0 人 (0%)	25 人 (89.3%)	3 人 (10.7%)
（主な就職、業界等） 病院等：今村病院、上村病院、大手町病院、金沢病院、北九州市立病院機構、久留米大学病院、五反田病院、田主丸中央病院、戸畑共立病院、長崎大学病院、新座志木中央総合病院、脳神経筋センターよしみず病院、博多メディカルクリニック、東川口病院、一橋病院、平戸市病院事業職員、福岡病院、福岡新水巻病院、福岡和白病院、もろどみ中央病院、山元記念病院			
（就職指導内容） 就職支援室を中心とした就職支援・指導を実施している。セミナー・講座を開催し、履歴書の書き方、面接の受け方など具体的な指導を行っている。医療機関等からの協力によりイ			

ンターシップを実施し、学生に対し職業に従事する動機づけを行っている。		
(主な学修成果（資格・検定等）)		
資格・検定名	受験者数	合格者数
診療放射線技師 国家試験	34 人	33 人
(備考)（任意記載事項）		

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
182 人	20 人	11.0%
(中途退学の主な理由) 経済的事由 成績不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 奨学金や教育ローンの拡充をはかり、経済的困難な学生のサポートに努めている。 入学予定者に対するサポートデスクを立ち上げ、入学までの学力向上を図っている。 複数担任制を導入し、学生へのきめ細やかなサポートを継続している。		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
医療		医療専門課程	看護科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
3 年	昼	2880 単位時間／単位	1845 時間	0 時間	1005 時間	0 時間	30 時間	
			2880 単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数		専任教員数		兼任教員数	
240 人		216 人	0 人		15 人		45 人	
			60 人					

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載したシラバスを作成しホームページ上で公開する。
成績評価の基準・方法
（概要） 各科目の成績は100点満点とし、定期試験及びその他の 各種資料（定期試験以外の試験、学習態度、出席状況等） に基づいて決定する。原則として60点以上を合格とする。 実技実習、臨地実習及び体育実技の成績についても同様とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が授業時 数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。学年ごと授業日数の3分の1以上欠席したものは進級、卒業せしめないものとする。
学修支援等
（概要） クラス運営は複数担任制を導入している。出席状況、補充指導等をとおして日々の状況をクラス担任が把握し、保護者との連携を密に取り対応している。また学生支援室を設置し、学生相談の場として万全なフォロー体制を構築している。さらに附属クリニックにおける専門医の健康相談等の場を設けている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
47 人 (100%)	2 人 (4.3%)	40 人 (85.1%)	5 人 (10.6%)
（主な就職、業界等） 病院等： ガーデンヒルズウィメンズクリニック、岸和田徳洲会病院、済生会唐津病院、佐田整形外科病院、東京西徳洲会病院、戸田中央総合病院、千葉愛友会記念病院、西福岡病院、のぞえ総合心療病院、白十字病院、原三信病院、福岡記念病院、福西会病院、福西会南病院、牟田病院、諸岡整形外科病院、横須賀共済病院、横浜市立大学附属病、TMG あさか医療センター			

(就職指導内容) 就職支援室を設置し、担当の副校長、学科長を中心とした就職支援・指導を実施しているセミナー・講座を開催し、履歴書の書き方、面接の受け方など具体的な指導を行っている医療機関等からの協力によりインターンシップを実施し、学生に対し職業に従事する動機づけを行っている。		
(主な学修成果（資格・検定等））		
資格・検定名	受験者数	合格者数
看護師国家試験	47 人	47 人
(備考) (任意記載事項)		

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
183 人	20 人	10.9%
(中途退学の主な理由) 経済的事由 成績不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 奨学金や教育ローンの拡充をはかり、経済的困難な学生のサポートに努めている。 入学予定者に対するサポートデスクを立ち上げ、入学までの学力向上を図っている。 複数担任制を導入し、学生へのきめ細やかなサポートを継続している。		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
医療		医療専門課程	歯科衛生科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2430 単位時間／単位	1515 時間	0 時間	900 時間	0 時間	15 時間
			2430 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
150 人		83 人	0 人	7 人	40 人	47 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
(概要) 授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載したシラバスを作成しホームページ上で公開する。	
成績評価の基準・方法	
(概要) 各科目の成績は100点満点とし、定期試験及びその他の 各種資料（定期試験以外の試験、学習態度、出席状況等） に基づいて決定する。原則として60点以上を合格とする。 実技実習、臨地実習及び体育実技の成績についても同様とする。	
卒業・進級の認定基準	

(概要) 学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。学年ごと授業日数の3分の1以上欠席したものは進級、卒業せしめないものとする。
学修支援等
(概要) クラス運営は複数担任制を導入している。出席状況、補充指導等をとおして日々の状況をクラス担任が把握し、保護者との連携を密に取り対応している。また学生支援室を設置し、学生相談の場として万全なフォロー体制を構築している。さらに附属クリニックにおける専門医の健康相談等の場を設けている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 就職支援室を設置し、担当の副校長、学科長を中心とした就職支援・指導を実施している。セミナー・講座を開催し、履歴書の書き方、面接の受け方など具体的な指導を行っている。医療機関等からの協力によりインターンシップを実施し、学生に対し職業に従事する動機づけを行っている。			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項） 令和5年4月1日新設			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
45人	3人	6.7%
(中途退学の主な理由) 経済的事由 成績不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 奨学金や教育ローンの拡充をはかり、経済的困難な学生のサポートに努めている。入学予定者に対するサポートデスクを立ち上げ、入学までの学力向上を図っている。複数担任制を導入し、学生へのきめ細やかなサポートを継続している。		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
柔道整復科	20 万円	80 万円	60 万円	
鍼灸科	20 万円	80 万円	60 万円	
理学療法科	20 万円	50 万円	70 万円	
診療放射線科	20 万円	80 万円	70 万円	
看護科	20 万円	80 万円	70 万円	
歯科衛生科	20 万円	60 万円	42 万円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにて公表 https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制） 自己点検・自己評価結果について学校職員以外の関係者による評価を行う。学校関係者評価委員会を設置し、年1回以上委員会を開催する。評価委員会は、学校運営の改善を目的としており、企業等の役員又は職員、地域住民、業界等の代表7名で構成される。また委員会では、自己点検・自己評価に基づき、教育理念、学校運営、学修成果等について評価をして頂く。その評価については、理事長、事務長、副校長、学科長等で共有し、毎月実施される教職員会議において全教職員に周知させ、理事長を中心に学校運営の改善に努める。評価内容は報告書にまとめ、ホームページ上で公開する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
山本祐司・亮司法書士行政書士事務所	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日（1年）	地域住民
福岡医療専門学校 非常勤講師	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日（1年）	有識者
（株）堺整骨院西 代表取締役	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日（1年）	卒業生（4期生）
株式会社 INTERACTION 代表取締役	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日（1年）	企業等委員
医療法人西福岡病院 放射線科 科長	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日（1年）	企業等委員
鍼灸整体院サロン MiN 代表	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日（1年）	卒業生（14期生）
（株）医療法人フオールディングス スターホーム スーパーバイザー	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日（1年）	企業等委員

学校関係者評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html
第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ : https://www.jusei.ac.jp/ 学校案内 募集要項
